

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		登録制自転車置場等の運営		款	5	項	2	目	1	事業	2	整理番号	398
担当部課名		都市整備部交通対策課		係名	自転車対策係		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	392		
上位施策No・施策名		7 自転車問題の解決		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			登録制自転車置場の利用者		根拠法令等	(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○通勤・通学で駅に乗り入れる自転車を登録制自転車置場等に収容し、放置自転車を防止します。		活動指標名(式)	(1) 登録台数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○道路上等に暫定的に設置している登録制自転車置場等の運営(利用登録の申請受付・審査、登録証の発行、置場整理員の配置)。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 登録制自転車置場等の設置駅での自転車放置率 算定式・指標の説明等 放置自転車台数÷駅乗り入れ自転車台数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	台	2,342	2,210	2,349	2,200	2,205	2,191		100.2		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	5.0	/	3.7	/	2.6	/				
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	25,887	29,796	25,034	29,666	23,640	26,754		22年度予算執行率% 79.7		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	200	0	0	0	0		特記事項 平成22年度の予算執行率が低くなりました。これは、自転車置場業務委託契約の契約落差金が約470万円あったことと、上井草登録制自転車置場を廃止したことによります。		
	(内)委託費	⑦	千円	24,081	27,377	23,749	28,011	22,427	25,105				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.93 0.00	0.80 0.00	0.90 0.00	0.80 0.00	0.91 0.00	0.80 0.00				
	人件費	⑨	千円	8,417	7,103	7,991	7,136	8,117	7,136				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	34,304	36,899	33,025	36,802	31,757	33,890				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	14,647	16,606	14,059	16,728	14,402	15,468				
	受益者負担分	⑬	千円	8,662	8,312	7,992	8,534	7,878	8,032				
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	8,662	8,312	7,992	8,534	7,878	8,032					
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	25,642	28,587	25,033	28,268	23,879	25,858					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	25.3	22.5	24.2	23.2	24.8	23.7					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 398

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				富士見ヶ丘自転車置場業務委託	2
		自転車置場整理指導業務委託	4	箇所	7,397
		利用登録受付	2	駅	1,279
		置場維持管理、光熱水費			369
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	上井草登録制自転車置場については、隣接地に鉄道事業者による自転車駐車場が開設されたため、平成22年6月28日に廃止しました。 登録制自転車置場(富士見ヶ丘、西永福)の運営を行いました。 富士見ヶ丘、西永福については、常時、混雑しているため、置場内の自転車整理に努めました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%以上に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="推進"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	【登録台数】 平成4年度16,693台 平成15年度7,436台 平成20年度2,342台 平成22年度2,205台 【乗入台数】 平成4年度34,943台 平成15年度29,654台 平成20年度29,110台 平成22年度27,532台 【放置台数】 平成4年度11,946台 平成15年度7,056台 平成20年度1,884台 平成22年度1,608台	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・有料制自転車駐車場を早期開設し、誰でも利用できるようにしてほしい。 ・置場の混雑している状況を解消してほしい。	
	今後の予測	登録制自転車置場等は道路や水路である場所を暫定的に使用しています。このため、有料制自転車駐車場に適した用地や施設の確保ができ次第、登録制自転車置場を廃止し、順次、有料制自転車駐車場に移行します。	
	評価と課題	○駅周辺に有料制自転車駐車場の整備ができない地域に、暫定的に「登録制置場」を開設しています。これにより、放置自転車が抑制されています。 ○鉄道事業者に働きかけを行った結果、上井草に民間の自転車駐車場が整備され、登録制自転車置場を廃止できたことは評価すべき点です。 ○有料制自転車駐車場の利用料金を比較すると、4.5倍の開きがあるため、登録制自転車置場に利用者が集まり、近隣の生活環境が低下しています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ● 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		○年間の利用料金を比較すると、登録制自転車置場と有料制自転車駐車場では4.5倍の開きがあり、公平性を保つためにも、早急に有料制自転車駐車場へ移行し、料金差を解消していきます。 ○有料制自転車駐車場に適した用地や施設の確保をすることが困難な状況ではありますが、有料制自転車駐車場へ移行するために、あらゆる土地や施設の確保に努めます。 ○道路や水路を暫定的に使用しているため、歩行者や自転車利用者の安全性を確保するためにも、有料制自転車駐車場への移行は急務です。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		有料制自転車駐車場の運営		款	5	項	2	目	1	事業	3	整理番号	399	
担当部課名		都市整備部交通対策課		係名	自転車対策係		連絡先電話番号	3555		昨年度整理番号	393			
上位施策No・施策名		7 自転車問題の解決		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	6	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区立自転車駐車場条例							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 自転車利用者を有料制自転車駐車場に誘導、収容し、放置自転車を防止することにより、区民の良好な生活環境の向上に資する。			活動指標名(式)		(1) 区立自転車駐車場収容可能台数 (2) 自転車駐車場利用率(平日の晴天日における年間駐車台数÷収容可能台数)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○(社)杉並区シルバー人材センター、民間事業者、及びNPOに委託して有料制自転車駐車場を運営する。 ○自転車駐車場の維持管理や保守警備委託を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 自転車放置率 算定式・指標の説明等 放置自転車台数÷駅乗入れ自転車台数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	台	27,503	26,107	26,331	26,331	25,328	25,328	96.2				
	活動指標(2)	②	%	83	84	82	85	81	85	95.6				
	成果指標(1)	③	%	7.0	/	6.3	/	5.8	/					
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	639,553	688,714	666,102	634,792	622,937	647,300	22年度予算執行率%		98.1		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	22,230	70,225	65,277	26,440	25,186	22,702	特記事項 活動指標(1)が平成23年度計画と平成22年度実績が同数値なのは、自転車駐車場整備の予定がなく予算が計上されていないため。				
	(内)委託費	⑦	千円	358,278	401,307	388,247	351,349	343,230	359,328					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	5.07 0.00	5.20 0.00	5.47 0.00	5.20 0.00	5.52 0.00	5.20 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	45,884	46,171	48,568	46,384	49,238	46,384				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	685,437	734,885	714,670	681,176	672,175	693,684					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	24,114	25,459	24,663	24,866	25,544	26,492					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	657,304	657,304	682,322	634,792	622,937	640,838				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	657,304	657,304	682,322	634,792	622,937	640,838					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	28,133	77,581	32,348	46,384	49,238	52,846					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	95.9	89.4	95.5	93.2	92.7	92.4						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 399

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		自転車駐車場業務委託・警備委託	39	箇所	292,574
		自転車駐車場管理(施設改修、光熱水費、印刷費、委託等含む)	39	箇所	110,344
		用地・施設賃借料	15	箇所	220,019
		その他 ()			0
(2) 事業実績		・荻窪南第一自転車駐車場のラック改修のほか、駐車場案内板の更新などの施設改修を行いました。 ・中野富士見町自転車駐車場など、一部ラックを撤去し、親子自転車など大型自転車の駐車スペースを増やしました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している ▼	社団法人・財団法人等公益団体((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	委託 [業務量の50%以上に相当] ▼	推進 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初は駅周辺に放置自転車で溢れていたが、有料制自転車駐車場の整備などを行ったため、利用が増え、放置自転車が徐々に減少している。 【整備台数】 H15年度 28,318台 H20年度 29,535台 H22年度 27,143台 【駐車場利用率】 H15年度 75.0% H20年度 83.4% H22年度 81.3% 【放置台数】 H15年度 7,056台 H20年度 1,884台 H15年度 1,608台
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	自転車駐車場がすぐ満車になり利用ができない。また、管理人の接客向上や一部の駅周辺では増設を求められています。
	今後の予測	・自転車利用者数は現在と同程度に推移し、大型自転車など自転車の形状が多様化していくと考えられます。
評価と課題		この事業は、放置自転車の減少に大きく寄与しています。ラック改修や大型自転車スペースの増設等により、利用者が使いやすい自転車駐車場の運営を行っています。 民営化については、引き続き事業性及び効果を検証していきます。なお一部の駅周辺では定期利用者の待機期間が長期となっていることが課題です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	○一部の駅周辺では、駐車利用台数の増設を図っていきます。 ○老朽化した施設については、買い物客対策や大型自転車用スペースを確保するなど利用者が利用しやすい施設に計画的に改修していきます。 ○効率的な有料制自転車駐車場の運営には、民営化などコスト削減やサービスの向上などを検証し、引き続き、検討していきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		放置自転車対策の推進			款	5	項	2	目	1	事業	4	整理番号	400	
担当部課名		都市整備部交通対策課			係名	自転車対策係			連絡先電話番号	3554			昨年度整理番号	394	
上位施策No・施策名		7 自転車問題の解決			予算事業区分									既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	5	事業コード	15	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 自転車利用者が自転車の放置をやめ、駅周辺の放置自転車をなくします。					活動指標名(式)		(1) 撤去台数 (2) 放置防止協力員活動駅数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○放置禁止区域内を中心に、放置自転車の撤去、返還、処分をする。 ○駅周辺放置禁止区域内での路面ステッカー貼付、自転車駐車場案内看板等の設置、修理。 ○駅周辺の商店会会員等を放置防止協力員として委嘱し、放置防止活動を行う。 ○毎年10月に「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」を行う。					成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		成果指標名(1)		自転車放置率		算定式・指標の説明等		放置自転車台数÷駅乗入れ自転車台数							
		成果指標名(2)		放置自転車台数		算定式・指標の説明等		放置台数							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	台	52,089	80,000	46,059	60,000	41,654	42,930	69.4					
	活動指標(2)	②	駅	16	18	18	18	18	18	100.0					
	成果指標(1)	③	%	7.0	/	6.3	/	5.8	/						
	成果指標(2)	④	台	1,884	1,700	1,754	1,500	1,608	1,350	107.2					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	203,412	217,293	200,060	220,501	203,600	192,657	22年度予算執行率%		92.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	7,875	7,061	27,643	17,408	7,770	特記事項 平成22年度に和泉自転車集積所を廃止し、永福自転車集積所に統合したため、事業費が減っています。					
	(内)委託費	⑦	千円	181,607	190,945	176,959	196,496	181,966	169,712						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	8.96 0.00	7.40 0.00	7.44 0.00	7.40 0.00	7.46 0.00	7.40 0.00						
	人件費	⑨	千円	81,088	65,705	66,060	66,008	66,543	66,008						
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	284,500	282,998	266,120	286,509	270,143	258,665						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	5,462	3,439	5,625	4,314	6,067	5,844						
	受益者負担分	⑬	千円	104,016	154,647	89,160	88,197	80,955	86,925						
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	104,016	154,647	89,160	88,197	80,955	86,925							
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	180,484	128,351	176,960	198,312	189,188	171,740							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	36.6	54.6	33.5	30.8	30.0	33.6							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 400

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				放置自転車対策業務委託	
		放置自転車撤去・返還・処分業務			62,119
		放置防止指導・啓発業務			6,131
		放置防止協力員活動	452	人	576
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	放置防止啓発活動や自転車撤去等により、駅周辺の放置自転車台数は、1日平均1,608台まで減少しました。 撤去自転車の減少に伴い、平成22年12月1日に和泉自転車集積所を廃止し、永福自転車集積所に統合しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和60年、自転車放置防止条例施行 平成6年6月、改正自転車法施行 「杉並区自転車利用総合計画」平成10年2月策定、平成21年11月改定 【乗入台数】平成4年度34,943台 平成15年度29,654台 平成20年度29,110台 平成22年度27,532台 【放置台数】平成4年度11,946台 平成15年度7,056台 平成20年度1,884台 平成22年度1,608台
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・放置禁止区域外の自転車及びバイクの撤去依頼が毎日あります。また、私有地に放置された自転車の撤去の依頼が増え対応に苦慮しています。 ・撤去に対する苦情や盗難自転車に対する取扱い等について要望があります。 ・買い物客の放置自転車、障害者にとって危険な点字ブロック付近の放置自転車など、対策をとってほしいとの要望が増えています。
	今後の予測	駅前の通勤・通学者による放置自転車は激減しましたが、午後から夕方にかけて買い物客の放置自転車が目立っています。
	評価と課題	○区民の理解、放置防止協力員らと協働して実施している啓発活動、撤去の強化、自転車駐車場の整備などにより、放置自転車が激減していることは評価すべき点です。 ○自転車集積所の運営方法を見直し、和泉自転車集積所を廃止し、永福自転車集積所に統合し、コストを削減したことは評価すべき点です。 ○商店街や大型店舗前にある買い物客の放置自転車(短時間駐車)への対応が課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
○街頭指導から撤去、返還までの一体的な業務委託を進めるとともに、撤去自転車の減少に伴う、自転車集積所の効率的運営を図るため、自転車集積所の統廃合を含めた撤去業務の見直しを行います。 ○大型店舗前など、放置自転車が目立つ箇所では、区による撤去や啓発活動とともに、店舗に対しても継続的に放置自転車への対応を働きかけていきます。 ○商店街による買い物客用自転車駐車が整備された際には、放置防止協力員・商店街と協働して、自転車駐車場へ買い物客の自転車を誘導するなど、買い物客の放置自転車対策に取り組みます。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 401

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		協議会全体会	2	回	300
		協議会幹事会	2	回	132
		運営事務(会議録作成委託等)			163
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	平成22年度、①商店街に買い物客用自転車駐車を整備するための方策②区立自転車駐車の民営化、以上2つをテーマとして協議会、幹事会にて検討を重ねました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本協議会の答申により、平成10年2月に「杉並区自転車利用総合計画」を策定しました。平成21年度の総合計画改定に合わせ、協議会で検討を行いました。 【放置台数】平成4年度11,946台 平成15年度7,056台 平成20年度1,884台 平成22年度1,608台
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。
	今後の予測	自転車等の駐車対策について、目標は達成されつつあります。ただし、自転車の安全利用など新たな問題への対応や鉄道事業者、道路管理者等との具体的な協議を進めていく場として、協議会の重要性が増してきています。
	評価と課題	○検討テーマを具体的に各委員に投げかけたことや、幹事会などを活用したことで、活発な議論を呼び、有意義な協議会を運営できたことは評価すべき点です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		○平成23年6月に委員の改選を迎え、より一層、協議会の効率的な運営に取り組みます。 ○平成23年度協議会の検討テーマとして、平成24年度に改定する「杉並区自転車利用総合計画」をとりあげます。今後も、買い物客の放置自転車対策や自転車安全利用など、その時々課題について協議していきます。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		自転車駐車場等整備			款	5	項	2	目	1	事業	6	整理番号	402			
担当部課名		都市整備部交通対策課			係名	自転車駐車場整備担当		連絡先電話番号	3558			昨年度整理番号	396				
上位施策No・施策名		7 自転車問題の解決			予算事業区分								投資事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	5	事業コード	15	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	自転車利用者		根拠法令等	(1) 自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 (2) 杉並区自転車の放置防止及び駐車場整備に関する条例							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)													
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標													
○自転車駐車場を整備し、自転車利用者が放置しない環境を整えます。また、自転車やバイクの駐車場が不足している駅周辺においては、民営駐車場の安定的な確保及び運営を促します。		○自転車駐車場用地を確保し、駐車場の整備を行う。 ○新たに民営(自転車・バイク)駐車場を設置する者に対し、その建設費や運営経費(バイクは除く)の一部を補助する。		(1) 区の整備台数(単年度) (2) 区の整備台数(累計)													
結果指標		成果指標名(1)		整備台数		算定式・指標の説明等		民間設置含む									
結果指標		成果指標名(2)				算定式・指標の説明等											
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画										
指標	活動指標(1)	①	台	507	994	21	0	0	0								
	活動指標(2)	②	台	28,006	29,000	28,027	30,300	30,131	0	99.4							
	成果指標(1)	③	台	30,845	33,100	30,723	34,600	31,127	30,615	90.0							
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	583,997	8,688	510	19,173	8,897	6,512	22年度予算執行率% 46.4							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	583,997	8,688	510	19,173	8,897	6,512	特記事項 ○平成22年度については、適切な用地が無く新規に実績となる整備はできませんでした。 ○平成23年度の活動指標(1)については、当初予算が計上されていないため0台としています。							
	(内)委託費	⑦	千円	173,567	2,378	0	0	0	0								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.04 0.00	3.00 0.00	3.04 0.00	3.00 0.00	3.05 0.00	3.00 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	27,512	26,637	26,992	26,760	27,206		26,760						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	611,509	35,325	27,502	45,933	36,103	33,272								
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	54,264	26,798	1,285,333											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0						
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0		0						
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	611,509	35,325	27,502	45,933	36,103	33,272								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 402

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			民営自転車駐車場育成補助(管理費・整備費)	3	箇所
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	・自転車駐車場が不足している2駅において、区の補助制度を活用した民間自転車駐車場、計404台(76台、328台)が整備されました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収容可能台数(民営含まず) ・平成14年4月1日 58箇所 30,015㎡ 27,682台 ・平成17年4月1日 51箇所 31,108㎡ 29,532台 ・平成20年4月1日 47箇所 31,842㎡ 29,215台 ・平成22年4月1日 45箇所 30,131㎡ 27,174台 ・平成23年4月1日 45箇所 30,131㎡ 27,143台
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・自転車駐車場の利用者から利便性、安全性について要望がありました。 ・自転車、バイク駐車場が不足している駅における増設、新設の要望がありました。
	今後の予測	・自転車駐車場が不足している駅周辺においては、整備用地の確保が困難であり、区による収容台数の増加が容易でないことが予測される中、民営自転車駐車場の設置が促進されることが見込まれます。
	評価と課題	昨年度は、自転車駐車場用地の取得が出来ず、区による収容台数の増加ができませんでした。しかしながら自転車駐車場不足駅2箇所、民間事業者2社による区の補助制度を活用した、民営自転車駐車場計404台が整備され、収容台数の増加が図られました。 今後は、自転車駐車場不足4駅周辺に民間事業者による整備を促進し、困難であっても、長期的に安定して確保できる区立の自転車駐車場を整備・確保することが必要です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		・区による整備用地確保を目指しながら、中期的に有効な民間による整備を誘導すべく、区の補助制度の活用を促します。 ・既存の区立自転車駐車場も、駐輪機など設備の経年劣化による老朽化が進みまた、近年の自転車の大型化などによる対応を考え、利用者の安全と利便性の向上に即した改修整備を計画的に進めます。	

特記事項	
------	--